



## 1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立玉島高等学校		
実践者等	土橋 一矢	実践日	令和3年5月28日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	数学・数学A		
対象生徒(学年等)	理数科1年		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	場合の数と確率 円順列		
使用したアプリ等	Jamboard		
実践の概要(ねらい等)	円順列を理解する		
<b>実践の内容</b>			
<p>(1) 前時の復習</p> <p>Jamboard を活用して、一問一答形式で答えさせる。</p> <p>(例) 4人全員が一行に並ぶ並び方は? → 4! (通り)</p> <p style="padding-left: 40px;">その答えは? → 24 (通り)</p> 			
<p>(2) 円順列の問題を考える</p> <p>「A、B、C、Dの4人を円形のテーブルに座らせる座り方は何通りか」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(1)の流れで問題を出題して、順列→円順列の流れを止めない形でそのまま考えさせる。</li> <li>・Jamboardを2人1枚で用意し、そのスライドに何通りあるか考えさせる。全部のパターンを書き出させて、全部で何通りか考えさせた。Jamboardを教師も共有しているので、生徒が書き出したスライドを前に提示し何通りあるか全員に共有した。</li> </ul> <p style="text-align: right;">「回転したものは同じとする」というヒントを与え、さらに検討し、最終的に結論を共有した。</p>  <p>最後に一般化したものを教科書で確認し、まとめを行った。</p>			
参考となるHP等			